

皮膚科 講義中の小テスト・出席代わりの小テスト 文責

講義中や、出席代わりとして出された問題の解答・解説です。設問の横には使用した参考書(新しい皮膚科学)のページが書かれています(この参考書を使っていない人はごめんなさい)。詳しく調べたい人は参考書もみてみてください。

テストで選択問題が出る場合はいくつ正解があるのか指示があるようです。皮膚科の講義で扱った疾患の数は少なく、また大事だ、覚えろ、と先生がおっしゃっていたところはさらに限られます。大事といわれた疾患についてある程度説明できれば記述問題も対応できると思います。何か質問などあれば関までお願いします。皮膚の試験も近付いてきました。皆さん頑張りましょう☆

2 箇所訂正があります。訂正箇所には、「訂正しました」と赤字で書いてあります。印刷された方も多いいと思います、申し訳ありません。そして、質問や指摘を下された方、ありがとうございます。今年のしけたいや授業プリントを参考に、過去問や小テストなど勉強していただければ、だいぶ前にアップした一昨年のしけたいは参考になくても大丈夫だと思います。

6月4日

皮膚アレルギー検査・パッチテストについて正しいものはどれか？ (答え2つ)

訂正しました。

p66

- 1) シャンプーは10%水溶液で閉鎖貼付する。
- 2) ヘアダイはそのままの濃度で閉鎖貼付する。
- 3) 72時間後に陰性ならアレルゲンではない。
- 4) 不適切な濃度では感作する危険性がある。
- 5) 多量の紫外線照射後は偽陰性がやすい。

答え：4, 5

解説：

- 2) ヘアダイとは髪染めのこと。
- 3) 通常は、48時間後に判定。72時間後あるいは96時間後にも判定を行うとより確実な判定ができるが、それでも絶対とは言えない。
- 4) 偽陽性反応がやすいものには、①アレルゲン濃度が濃すぎる、②刺激性物質が混在する、③固形物の圧迫効果、④貼付部位ないし、周囲に炎症があり、判定が早すぎる、⑤テープによる刺激、などがある。
- 5) 偽陰性反応がやすいものには、①アレルゲンの濃度が低い、②量が少ない、③基剤が適当でない、④判定時間が早すぎる、⑤光線過敏症なのに光パッチテストをしてい

ない、などがある。紫外線照射後は、免疫力が低下するため、正しい結果が出ないことがある。

ランゲルハンス細胞について正しいのはどれか?・・p11、授業プリント

- 1) 骨髄中に存在する CD34+の前駆細胞から誘導される。
- 2) ステロイドの外用により表皮内の細胞数は増加する。
- 3) 気道粘膜上皮には存在しない。
- 4) IgE 陽性の細胞はアトピー性皮膚炎病変部で特異的にみられる。
- 5) リンパ節への遊走は CCR7 により制御されている。

答え：1, 3, 5

解説：

ランゲルハンス細胞とは、

- ・ 表皮に存在する骨髄由来の抗原提示細胞
- ・ 全表皮細胞の1～3%
- ・ 電顕では Birbeck 顆粒を観察できる。
- ・ HLA-DR, CD1a 陽性
- ・ 細胞膜 ATPase 陽性

6月11日

天疱瘡について正しいものをすべて選べ。・・p211～221

- 1) 尋常性天疱瘡では粘膜にも水疱を生じる。
- 2) 尋常性天疱瘡では臨床的に緊満性水疱がみられる。
- 3) 落葉状天疱瘡の自己抗体の標的は Dsg1 である。
- 4) 近年 ELISA が天疱瘡の診断に用いられる。
- 5) 天疱瘡の治療にステロイド外用は有用である。

答え：1, 3, 4

解説：

- 1) 口腔粘膜のびらん、潰瘍が初発症状となることが多い。
- 2) 緊満性水疱ではなく、弛緩性の水疱と難治性のびらんを形成。
- 5) 天疱瘡の治療には、軽症でもステロイド全身投与が原則。ステロイド外用は無意味である。(教科書には、落葉状天疱瘡においてステロイド外用が有効なこともある、と記されているが、基本的にステロイドは内服で。)

尋常性乾癬の特徴的なものはどれか。・・p242、410、71

- 1) コゴイの海綿状膿疱
- 2) ポートリエの微小膿瘍
- 3) 皮膚描記症
- 4) マンローの微小膿瘍